

福知山市自治基本条例推進委員会

Bグループ 成果報告



令和7年3月25日（火）

提案No. 9

多様な働き方、働く目的にこたえる“しごと”と“人”をつなぐ
仕組みをつくろう



福知山市自治基本条例推進委員会（Bグループ）

提案の趣旨

福知山市に住みたいという希望を叶える「働く場」の確保を目指し、多様な働き方や働く目的に応じた“しごと”と“人”をつなぐ仕組みづくりの重要性

提案の具体化の向けて、私たちができること

- 地元企業が自社の取り組みを公開し、大学生や市民と意見交換を行う場の創出
- 「オープンファクトリー」を通じた地域産業の魅力発信と、若者の地域定着促進

提案の具現化に向けた検討内容

➤ 「働く場」の確保について



- 農業を目指す人が増えており、「農地付き空き家」の提供が有効
- 「担い手養成実践農場」制度や移住支援制度の周知が不十分であり、積極的な情報発信が重要
- 地元企業が自社の取り組みを公開し、大学生や市民と意見交換を行う場の創出が重要

➤ 移住者支援と交流の場づくりについて

- 交流会を通じて、福知山市での生活や仕事の魅力を伝える機会を拡充することが重要

提案の具現化に向けた方策



- 農業、移住、空き家対策、企業連携など、多様な取り組みを連携させ、福知山市全体で「働く場」と「人」をつなぐ仕組みの確立が必要

⇒ 情報マッチングの仕組み強化

- 若者が地域の仕事に対する理解を深める機会の必要性

⇒ 若者の企画・運営によるオープンファクトリーでの異業種交流

⇒ 学生が地域の課題に主体的に関わることで、次世代の地域活性化を促進

提案の具現化に向けた検討結果

提案No.9

多様な働き方、働く目的にこたえる“しごと”と“人”をつなぐ
仕組みをつくろう

- 地元企業が自社の取り組みを公開し、大学生や市民と意見交換を行う場の創出
- 「オープンファクトリー」を通じた地域産業の魅力発信と、若者の地域定着促進

提案No.10

福知山市に住みたい希望をかなえられる働く場の確保を大学や企業とも連携しながら、実現していこう



福知山市自治基本条例推進委員会（Bグループ）

提案の趣旨

「住みたいまち」と「働きたいまち」をつなぐ環境づくり

提案の具体化の向けて、私たちができること

- 働く場の確保に加え、地域とのつながりやリアルな情報提供
- 若者が地域と関わる場として、「オープンファクトリー」や「情報交換の場」を積極的に創り出す

提案の具現化に向けた検討内容

➤ 大学と企業の連携について

- 行政の情報発信は「良い面」ばかりが強調されがちだが、NPOや企業からは地域の課題や現実的な面も伝わり、より実情に合った情報が得られる
- 学生たちが、地域や企業とつながる機会の創出が重要

➤ 若者と地域のマッチングについて

- 地域の魅力や課題を正しく伝え、若者が「ここで働きたい」「ここで暮らせる」と実感できる場づくりが重要
- 大学と企業、先輩移住者と若者、そして若者が地域と自然につながる機会

提案の具現化に向けた方策



- 地域の魅力や課題を正しく伝え、若者が「ここで働きたい」「ここで暮らせる」と実感できる場づくりが必要
 - ⇒ 既存の広報や地域公民館の主体的な活用
- コワーキングスペースやワークスペースを活用した「情報交換の場」の設置が必要
 - ⇒ 若者が地域課題や地域産業について理解を深める機会
 - ⇒ 地域の企業が若者の挑戦を取り入れる機会

提案の具現化に向けた検討結果

提案No.10

福知山市に住みたい希望をかなえられる働く場の確保を大学や企業とも連携しながら、実現していこう

- 働く場の確保に加え、地域とのつながりやリアルな情報提供
- 若者が地域と関わる場として、「オープンファクトリー」や「情報交換の場」を積極的に創り出す

提案No.11

意欲ある起業家や地域を支える経営者の挑戦と創意工夫を、
まちぐるみでサポート、育成していこう



福知山市自治基本条例推進委員会（Bグループ）

提案の趣旨

「挑戦する人が育つまち」を目指して

提案の具体化の向けて、私たちができること

- 経験豊富な経営者と若い世代がつながる仕組みづくりから、新しいビジネスの創出
- 学生や若者が挑戦しやすくなるよう、地域の企業やNPO、行政が連携してサポート体制を強化

提案の具現化に向けた検討内容

➤ 起業家育成支援について

- 福知山市には、意欲ある起業家や創意工夫を重ねる経営者が多く存在する
- 挑戦者が地域で認知され、地域全体で支えられる環境づくりが重要

➤ 地域での交流機会の促進について

- 福知山市が実施する「福知山の恋」などの取り組みを活用し、挑戦している経営者の取り組みを広くPRすることが有効
- 成功事例だけでなく、失敗からの学びに焦点を当てることで、挑戦する意欲の向上が期待できる

提案の具現化に向けた方策



➤ 「オープンファクトリー」を活用した企業と地域の交流促進が必要

⇒ 学生が起業に興味を持った際に、地域の経営者から直接話を聞く機会を設けることで、挑戦の具体的なイメージを描きやすくする

➤ まちぐるみで起業家や経営者の成長を後押しする取り組み

⇒ 挑戦の過程や失敗の事例も積極的に共有することで、起業に対するハードルを下げる工夫が必要

提案の具現化に向けた検討結果

提案No.11

意欲ある起業家や地域を支える経営者の挑戦と創意工夫を、
まちぐるみでサポート、育成していこう

- 経験豊富な経営者と若い世代がつながる仕組みづくりから、新しいビジネスの創出
- 学生や若者が挑戦しやすくなるよう、地域の企業やNPO、行政が連携してサポート体制を強化

Thank you

B グループ

小林 加奈子

杉山 俊輔

高橋 治子

水口 一也